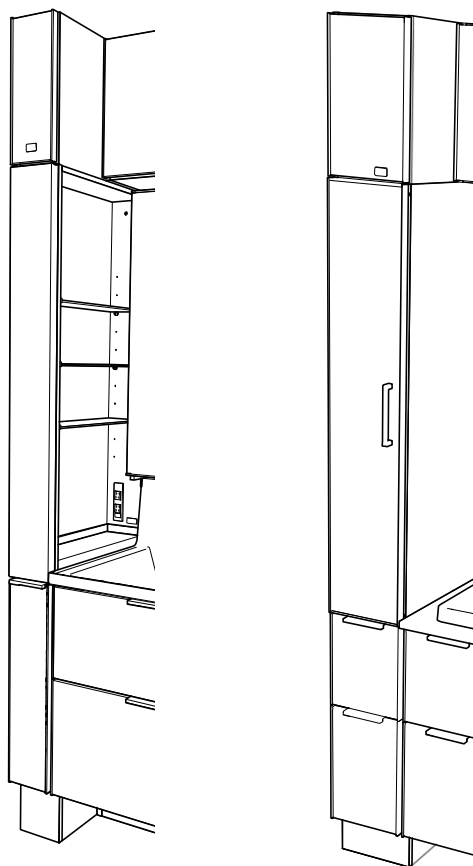


Takara standard

取扱説明書 設置説明書 洗面トールユニット (エンドパネル含む)



もくじ

取扱説明書

各部のなまえ……………	2
安全上のご注意……………	3
使用上のご注意……………	4
使いかた……………	5
調整のしかた……………	6
お手入れのしかた……………	8
こんなときは……………	8

設置説明書

設置される方へのお願い…	9
安全上のご注意……………	9
設置前のご確認……………	10
取付寸法図……………	10
設置の流れ……………	11
コーキング処理……………	19
安全点検……………	19
お願い事項……………	19
アフターサービス……………	20

このたびは、タカラスタンダード 洗面トールユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お客様へ

- ◆この取扱説明書は洗面トールユニットについてのみ記載されています。ご使用前に洗面化粧台に付属の取扱説明書と本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」については、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使い下さい。
- ◆この取扱説明書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

設置される方へ

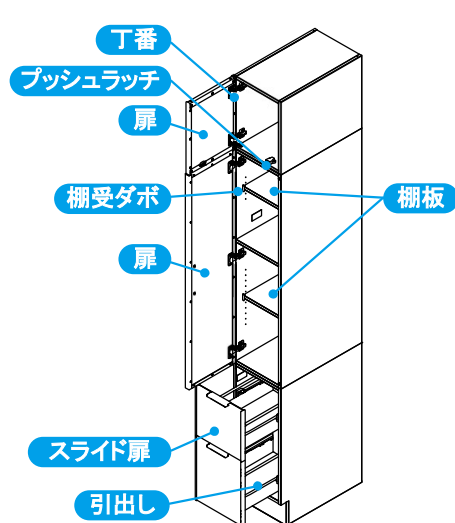
- ◆設置後は、洗面化粧台等の取扱説明書と共に、この説明書を必ずお客様にお渡しください。
お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

取扱説明書

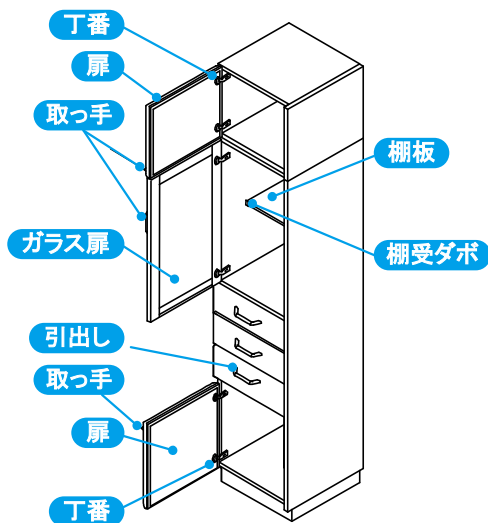
各部のなまえ

■ホルムアルデヒドについて

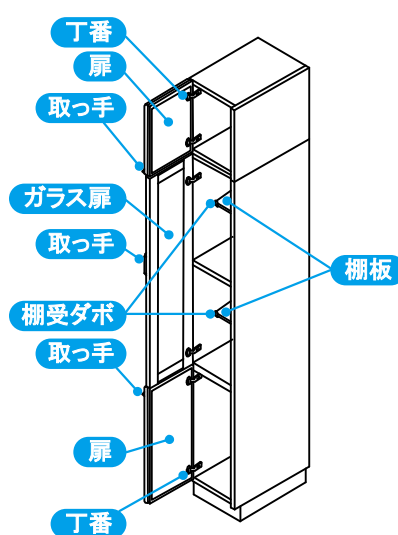
お客様が安心してお使いいただけるように、ホルムアルデヒド放散量が最も少ない材料(F☆☆☆☆)を採用しています。放散量は0ではありませんので、換気をおすすめします。



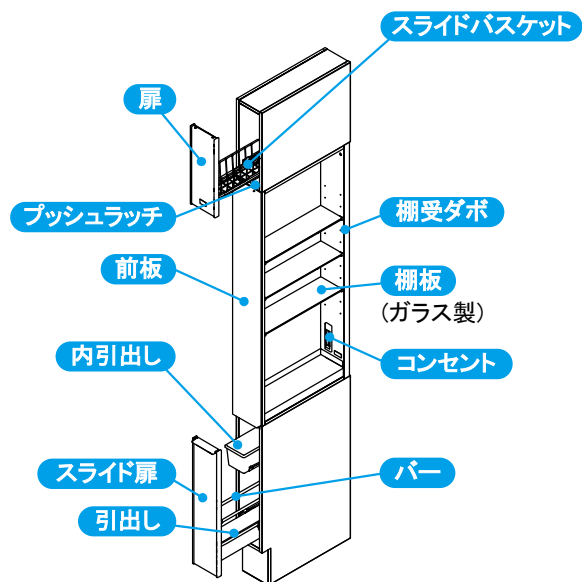
S-YDSY023/30/45 S-YCTY023/30/45
S-YUTY023/30/45



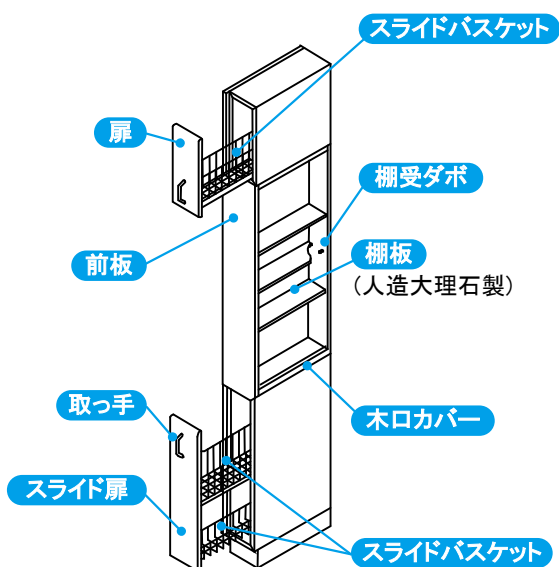
S-UTWU045 S-UUTU045



S-UTGU030 S-UUTU030



S-YDSY015 S-YCXY015 S-YUSY015



S-UDSU015 S-UCXU015 S-UUSU015

安全上のご注意

必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



必ず実行

必ず実行していただく「強制」の内容です。



禁止

してはいけない「禁止」の内容です。



警告

- 電源コンセントの表示容量(ワット)をこえる電気器具を使わない

発熱により、火災の原因になることがあります。

- コンセントに水をかけたり、濡れた手で触らない

感電や火災の原因になることがあります。

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしない

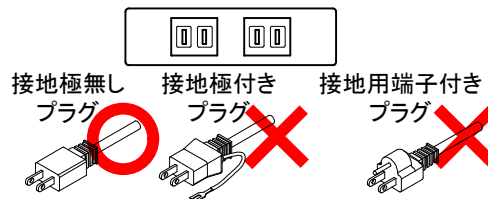
火災や感電、ケガをするおそれがあります。

- 電源プラグにホコリがついたまま使用しない

火災の原因になることがあります。

- アース(接地極)無しコンセントではアース接続が必要な電気機器を使用しない

漏電した場合、感電・発火の原因になります。



注意

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジを締めなおす

扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

- 部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかに修理を依頼する

小さな部品の場合も同様に修理を依頼してください。そのまま放置すると思わぬ事故(ケガや誤飲)がおこる可能性があります。

- 地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかっているか確認する

収納物が落下してケガをするおそれがあります。

- 棚板の位置を変える場合、棚受ダボは正しい向きできっちり奥まで差し込む

※6ページ参照

棚板、収納物が落下し、ケガをするおそれがあります。

- 薬剤・洗剤類はそれぞれの注意表示に従う

誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをするおそれがあります。

- 扉や取っ手にぶらさがったり、扉を大きく開けすぎない

扉や取っ手がはずれてケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

- 開閉時に丁番にさわらない

丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

- 引出しをはずすときは、バーを持ってはずさない

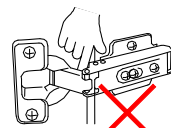
引出しが落下するおそれがあります。

- ガラス棚に衝撃を与えない

ガラス棚が割れたり落下して、ケガをするおそれがあります。

- 扉・スライド扉・引出しを開いた状態で強い力をかけない

丁番、レールが損傷したり、レールが脱輪するおそれがあります。



禁止



必ず実行

●**カウンターの上に乗らない**

すべて落ちたり、キャビネットが転倒してケガをするおそれがあります。

●**固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は使ったり近づけたりしない**

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食、劣化の原因になります。保管の場所や方法に注意してください。その他の洗浄剤、漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

●**扉・引出し開閉時に丁番・レールにさわったり、すき間に手を入れない**

指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

●**扉・引出しは開けたままにしない**

ぶつかってケガをするおそれがあります。

●**電源コンセント使用後は必ず電気器具側のスイッチをOFFにしてからプラグを抜く**

●**電源コンセントを差し込んだままにしない**

プラグ部にほこりがたまり、火災発生の原因になるおそれがあります。

●**扉・引出しの調整時にゆるめたネジは、調整後に全て締める**

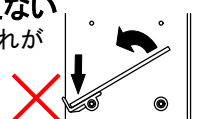
ネジがゆるんだまま使用すると、扉や引出しが落ちてケガをするおそれがあります。

●**扉・引出しの調整時、電動ドライバーは使用しない**

ネジが破損し扉などが落下してケガをするおそれがあります。手回しドライバーを使用してください。

●**ガラス棚の前端に力を加えない**

棚板が落下し、ケガをするおそれがあります。



使用上のご注意

●**複数の引出し・扉を同時に開閉しない**

指を挟んで思わぬケガをしたり、扉同士が干渉し、扉に傷がつくおそれがあります。

●**キャビネットに湯水をかけない。かかった場合はすぐに拭き取る**

変形や変質のおそれがあります。

●**キャビネットの近くにストーブ等を近づけない**

ソリや変色の原因となります。

●**キャビネットの側板の横方向の無理な力を加えない**

破損や変形の原因になります。

●**扉を開閉する時は、壁やドアなどに当たらないように注意する**

破損や変形の原因になります。

●**直射日光が当たる場合は、カーテンなどで遮る**

変形・変色の原因になります。

●**収納物は極力均等に載せる**

前方に集中して載せると、引出しがきちんと閉まらないおそれがあります。

引出し収納物の重量は下表を参照してください。

部位	引出し 内引出し	スライド バスケット
最大収納重量	5kg	3kg

●**化粧品(マニキュア除光液、毛染め液、ジェル系クレンジング剤など)、強い酸性やアルカリ性の薬品、シンナー等の溶剤をキャビネットなどに付着させない。こぼれたらすぐに拭き取る**

表面の光沢を損ねたりするおそれがあります。

●**シンナーなどの有機溶剤・強酸・強アルカリ性洗剤やトイレ用洗剤は使用しない**

漏水や変色・破損・表面劣化の原因となります。

●**酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤類を収納するときしっかりとキャップを閉める**

揮発成分により丁番・レールなどの金属部品が錆びたり、樹脂部品が劣化・破損するおそれがあります。

●**引出し内部には過度に重いものを収納しない**

引出しがこわれる原因になります。

●**ホーローパネルに他社製マグネット商品を使用すると、形状や磁力により吸着しない場合があるため注意する**

●**クリームクレンザー等を使用する場合は、目立たない箇所で少しずつ様子を見ながら行う**

変色や光沢が変わるおそれがあります。

●**棚板へ過度に重いものを載せたり、偏って物を収納しない**

棚板が変形するおそれがあります。

棚板の最大積載重量は下表を参照してください。

部位	棚板 (ガラス・人大製)	棚板・底板 (木製)
最大積載重量	3kg/段	間口10cmにつき 2kg/段

使いかた

コンセント(S-YCXY015のみ)

- 電気器具は、そのスイッチがOFFの状態を確認した上で、奥までしっかりと差し込んで使用してください。

ご注意

コンセントに消費電力2カ所合計1500Wをこえる電気器具は使用しない。

- 電気器具を使い終わったら、そのスイッチがOFFの状態を確認した上で、プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意

電気器具のプラグを差し込んだままにしない。(プラグ部にホコリがたまり、火災発生の原因になるおそれ)

プッシュラッチ

開閉のしかた

●開けかた

扉の使用ラベル付近を押し、『カチッ』とキャッチの音がしたら手を離す。(図①)

●閉めかた

扉の使用ラベル付近をゆっくり奥まで押し、『カチッ』とキャッチの音がしたら手を離す。

ご注意

開閉の際は、必ず使用ラベル付近を押すこと。
使用ラベルから離れたところを押すと、正しく開閉できない場合がある。
また、扉を押し続けると、扉が変形して正しく開閉できなくなるおそれがある。



図①

調整のしかた

- プッシュオープン扉が作動しない場合や扉の前後調整を行う場合は、下記の要領にしたがってプッシュラッチを調整してください。

<S-YUTY023・30・45の場合>

プッシュラッチの取付穴が長穴になっているので、ネジを緩めてプッシュラッチの位置を調整しネジを締めなおす。(図②)

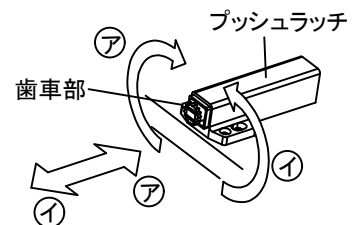
※調整には+ドライバーが必要です



図②

<S-YUSY015の場合>

プッシュラッチ前側の歯車部を回して、プッシュラッチの奥行きを調整する。(図③)



図③

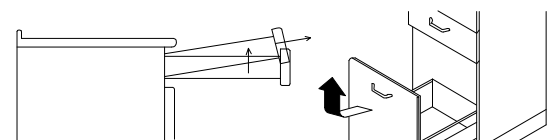
引出し・内引出し・スライド扉

●引出し・内引出しのはずしかた

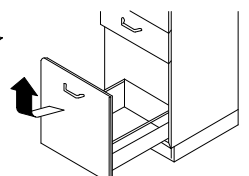
引出しをいっぱいに出した後、上へ持ち上げながら引き抜く。(図④)

●スライド扉のはずしかた

扉をいっぱいに出いた状態で、少し上に持ち上げて引く。(図⑤)



図④



図⑤

棚板

棚受ダボにはA・Bの2タイプがあります。(図⑥)

<Aタイプの場合>

●棚板のはずしかた(図⑦)

前側のダボの上部に指をかけ、手前にはじく。

●棚受ダボの取付けかた

希望の位置にダボをしっかり奥まで差し込む。

●棚板の設置のしかた(図⑧)

奥のダボに棚板を差し込み、次に前のダボの上から棚板を押し込む。

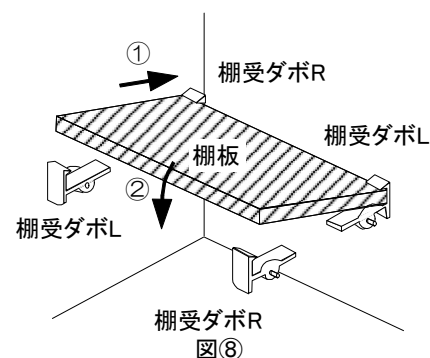
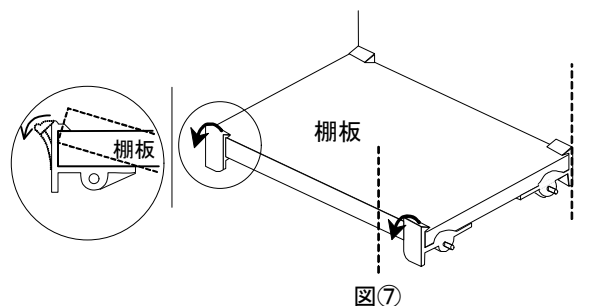
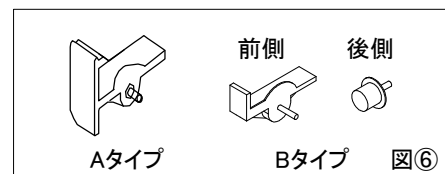
<Bタイプの場合>

●棚受ダボの取付けかた

棚受ダボの前側・後側に注意して、希望の位置にしっかり奥まで差し込む。

●棚板の設置のしかた

棚受ダボに棚板を設置する。



調整のしかた

スライド扉

①スライド扉の左右方向の調整

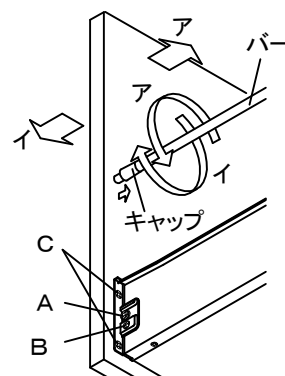
Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締めなおす。

②スライド扉の上下方向の調整

Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締めなおす。

③スライド扉の前後方向(角度)の調整

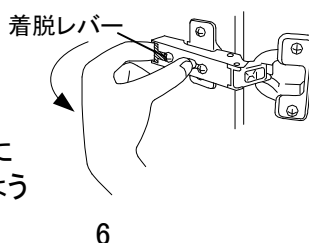
左右のバーに付いているキャップを少し引き抜いた状態で左右に回して調整する。



開き扉

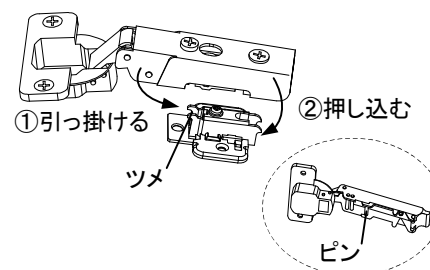
●丁番のはずしかた(左図)

中央の穴を押さえた状態で、着脱レバーを押しあげる。



●丁番の取り付けかた(右図)

丁番本体前部のピンを丁番プレート前部のツメに引っ掛け、丁番本体を丁番プレートにかぶせるようにしてカチッと音がするまで押し込む。



扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領に従って締め直しまたは調整を行ってください。
 なお、調整方法は丁番の種類によって異なりますのでご注意ください。
 ※調整には＋ドライバーが必要です。

ご注意



禁止

- 扉の調整時、電動ドライバーは使わない
 ネジが破損し扉などが落下してケガをするおそれがあります。
 手回しドライバーを使用してください。

丁番の特徴			
丁番の特徴	刻印なし	LAMPの刻印あり	ATOMの刻印あり
扉の状態	調整方法		
左右に傾いている 	①「B」のネジを回して左右調整する。 ②「A」のネジがゆるむので締めなおす。 	「B」のネジをまわして左右調整する。 	①「B」のネジを回して左右調整する。 ②「A」のネジがゆるむので締めなおす。
前後に傾いている 	「A」のネジをゆるめて前後調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。 	Aのネジを回して前後調整する。 	「A」のネジをゆるめて前後調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。
上下にずれている 	扉についている丁番のそれぞれの「C」のネジをゆるめて上下調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。 	「C」のネジを回して上下調整する。 ※同じ扉に付いている全ての丁番を調整する必要あり 	扉についている丁番のそれぞれの「C」のネジをゆるめて上下調整した後、ゆるめたネジを締めなおす。
ガタついている	「A」「C」「D」「E」のネジを締めなおす。 	・「D」「E」のネジを締めなおす。 	「A」のネジを締めなおす。

お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。
なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

代表的なお手入れ道具

お掃除道具

- ・スポンジ
- ・使い古した歯ブラシ
- ・やわらかい布
- ・ゴム手袋



洗剤

- ・住宅用洗剤
- ・中性洗剤
- ・クリームクレンザー



ご注意



以下の洗剤・道具は使用しない
製品を傷めるおそれがあります。

溶剤(シンナー・ベンジン)、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤
金属タワシ、ナイロントワシ、みがき粉、研磨剤入りスポンジ

キャビネット、扉・引出、エンドパネル

■日常のお手入れ(毎日)

よくしぼったやわらかい布で、水滴や汚れをふき取る。

■汚れた場合(週1回程度)

- ①うすめた台所用中性洗剤をつけたやわらかい布で汚れをふき取る。
- ②水ぶきして洗剤を残らずふき取る。
- ③乾いたやわらかい布で水分をふき取る。

人造大理石カウンター

■日常のお手入れ(毎日)

よくしぼったやわらかい布で、水滴や汚れをふき取る。

■汚れた場合(週1回程度)

- ①うすめた台所用中性洗剤をつけたやわらかい布で汚れをふき取る。
- ②水ぶきして洗剤を残らずふき取る。
- ③乾いたやわらかい布で水分をふき取る。

■落ちにくい汚れの場合(月1回程度)

- ①ナイロントワシ(住友スリーエム:スコッチ・ブライトなど)を水に浸して、円を描くようにまんべんなく磨く。
それでも落ちない場合は、クリームクレンザーを併用して磨く。
※食品用ラップにつけて磨くと、より効果的です。
- ②水ぶきしてクリームクレンザーを残さずふき取る。
- ③乾いたやわらかい布で水分を残さずふき取る。
※粒子の細かいクリームクレンザー(液体)で強く磨くと光沢が変わるおそれがあります。
まずは目立ちにくい場所で試した後、少しずつ様子を見ながら磨きましょう。

■表面に傷がついた場合

- ①クリームクレンザーや目の細かいサンドペーパー(#400程度)で傷がなくなるまで磨く。
傷が深い場合は、目の粗いサンドペーパー(#240程度)を使用すること。
- ②ナイロントワシ(住友スリーエム:スコッチ・ブライトなど)で、周囲の光沢と合うように磨く。
- ③すぐに水ぶきして汚れを残さずふき取る。
- ④よくしぼったやわらかい布で水分を残さずふき取る。
※磨きかたによっては、光沢が変わるおそれがあります。
まずは目立ちにくい場所で試した後、少しずつ様子を見ながら磨きましょう。

こんなときは

アフターサービスをお申し付けになる前に、つぎの点をお調べください。

それでも具合の悪いときはお買い上げの販売店または、裏表紙に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

現象	確認事項	処置
扉が傾いたり、扉がガタついたりする	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形したりしていませんか。	ネジがゆるんでいる場合は、締めなおしてください。 それでもなおらない場合や丁番が変形している場合は、点検修理を依頼してください。
コンセントの電源で電気器具が使えない	プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	プラグをしっかり差し込んでください。

設置説明書

設置される方へのお願い

- 設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置作業を行ってください。
- 本説明書は、洗面ツールユニットについてのみ記載されています。キャビネット本体およびミラー部についてはそれぞれに付属の説明書にしたがって設置作業を行ってください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本説明書はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

安全上のご注意

- 設置作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、つぎの表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



必ず実行

必ず実行していただく「強制」の内容です。



禁止

してはいけない「禁止」の内容です。



警告

- キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う
固定方法を誤ると使用中にキャビネットが転倒してケガをするおそれがあります。
- 電気工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う
火災・感電の原因になることがあります。
- 定格15A以上のコンセントを単独でできるように施工する
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。
- コンセントへの配線の接続は、確実に奥まで差し込む
接続が不完全な場合は、接続不良やショートの原因になることがあります。
- 交流100V以外の電源は絶対に使用しない
火災・感電の原因になります。



必ず実行



注意

- 設置作業完了後は扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認する
扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。
- 棚板を設置する時は、棚受をすきまのないよう根元まで確実に差し込む
※6ページ参照
棚板、収納物が落下しケガをするおそれがあります。
- 仕上げ工事に使われる溶剤・洗剤・その他の薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって正しく使う
使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり使用部材の損傷や劣化の原因になります。



必ず実行

●浴室内等の湿気の多い場所への設置は避ける

製品が早く傷むおそれがあります。

●直射日光や殺菌等が当たる場所、高温になる場所への設置は避ける

プラスチック部品や塗装部分に変色するおそれがあります。



禁止

●設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールを敷く等の養生を施し、キズがつかないように十分注意する

●設置する時にカウンターに乗らない

カウンターに傷がつくおそれがあります。

●梱包材の中には付属部品が入っているので入れたまま捨ててしまわないよう注意する

●設置中、キャビネットや扉にドライバーや金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意する

設置前のご確認

●製品を設置する床、壁面は平らに、また壁面は床面に対して垂直に仕上げてください。

●キャビネットの固定下地には、ネジ固定位置を中心に十分な強度を持つ厚み12mm、幅100mm以上の合板が貼られているか確認し、所定の付属ネジを使用して手順通り確実に行ってください。(下記 取付寸法図参照)

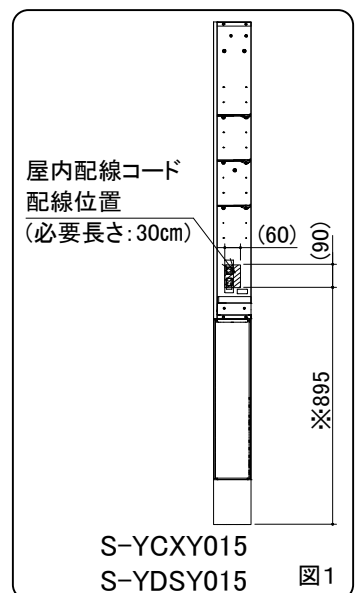
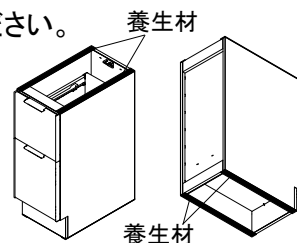
●直結配線工事をされる場合は、あらかじめ電気配線位置を確認してください。(図1)(S-YCXY015,S-YDSY015の組み合わせのみ)

直結する屋内配線コードには、VVFケーブルφ1.6またはφ2.0単線が適合します。

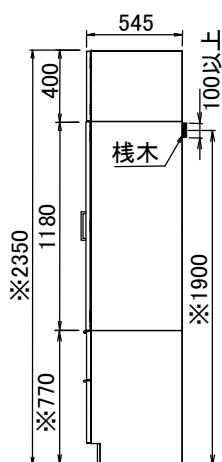
●天面または底面に養生材が付いている場合は取り外してください。

ご注意

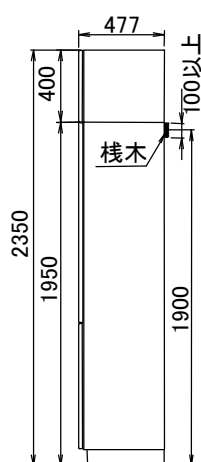
養生材が付いた状態でキャビネットを設置すると、外観や取付高さの不良につながる。



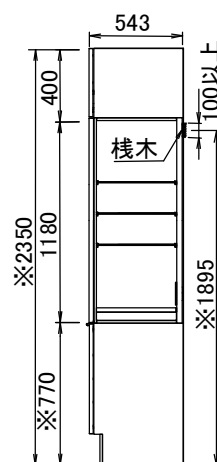
取付寸法図



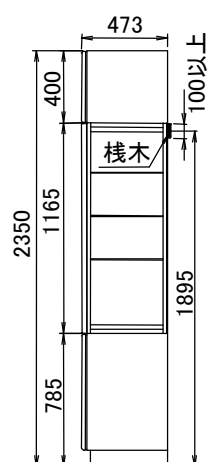
S-YUTY023・030・045 (上台)
S-YCTY023・030・045 (中台)
S-YDSY023・030・045 (下台)



S-UUTU030・045 (上台)
S-UTWU045 (下台)



S-YUSY015 (上台)
S-YCXY015 (中台)
S-YDSY015 (下台)



S-UUSU015 (上台)
S-UCXU015 (中台)
S-UDSU015 (下台)

●図はカウンター高さ80cmの場合の寸法。

カウンター高さが85cmの場合は※部の寸法が+50mmになります。

設置の流れ

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1,付属部品の確認 → 2,台輪の取付 → 3,キャビネットの加工 → 4,キャビネットの連結 →

※オンディーヌのみ

5,エンドパネルの設置 → 6,フィラーの設置 → 7,キャビネットの設置 → 8,直結配線工事

※エンドパネルを設置する場合のみ

※フィラーを設置する場合のみ

※直結配線工事をする場合のみ

1 付属部品の確認

〈ツールユニット本体〉

	ファミリー		オンディーヌ	
	S-YDSY023 S-YDSY030 S-YDSY045	S-YCXY015	S-UTWU045 S-UTGU030	S-UCXU015
皿タッピンネジ 4.5x60	2		2	
トラスタッピンネジ 3.5x60		2		2
トラスタッピンネジ 3.5x27		2		2
皿タッピンネジ 3.5x35		2		2
皿タッピンネジ 3.5x27	6		4	
トラスタッピンネジ 3.5x14	2	1		1
取扱設置説明書	1	1	1	1
棚受ダボ L/R		各3		各3
棚受ダボ(丸型)		6		6
ネジキャップ座金		2		2
ネジキャップ	8	2	6	2
ネジ穴キャップ		4		4
バックアップテープ		1		1
人造大理石棚				3
ガラス棚		3		
木口カバー				1

〈台輪〉 ※オンディーヌのみ

	オンディーヌ
	S-DC45WN-80 S-DC30WN-80 S-DC15WN-80
前台輪	1
横台輪 L/R	2
後台輪	1
台輪隅金具	4
トラスタッピンネジ 3.5x14	20

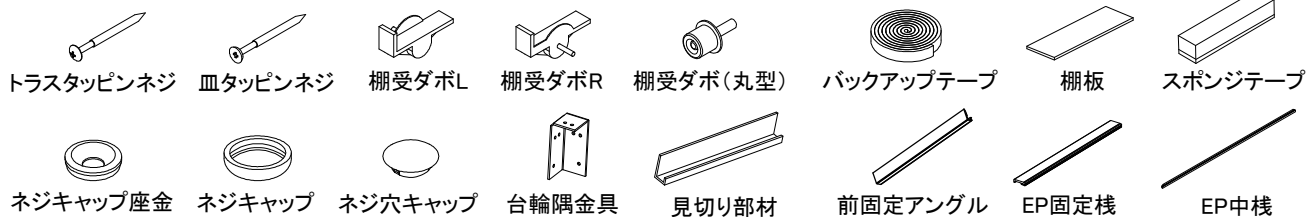
〈フィラー〉 ※フィラー設置の場合のみ

	ミキリST10N
見切り部材(L=1176・白)	2
見切り部材(L=189・白)	1
見切り部材(L=189・グレー)	1
トラスタッピンネジ 3.5x14	8
スポンジテープ	1

〈エンドパネル〉 ※エンドパネル設置の場合のみ

	ファミリー		オンディーヌ	
	SEP-TD(Y*)	SEP-TU(Y*)	SEP-TDN(U*)	SEP-TUN(U*)
皿タッピンネジ 3.5x25	3		3	
皿タッピンネジ 3.5x27	8	4	8	4
ネジキャップ	8	4	8	4
前固定アングル	1			
EP固定棧	4 (L=875)	2 (L=375)	2 (L=1925)	2 (L=375)
EP中棧	1 (L=1600)		1 (L=1600)	

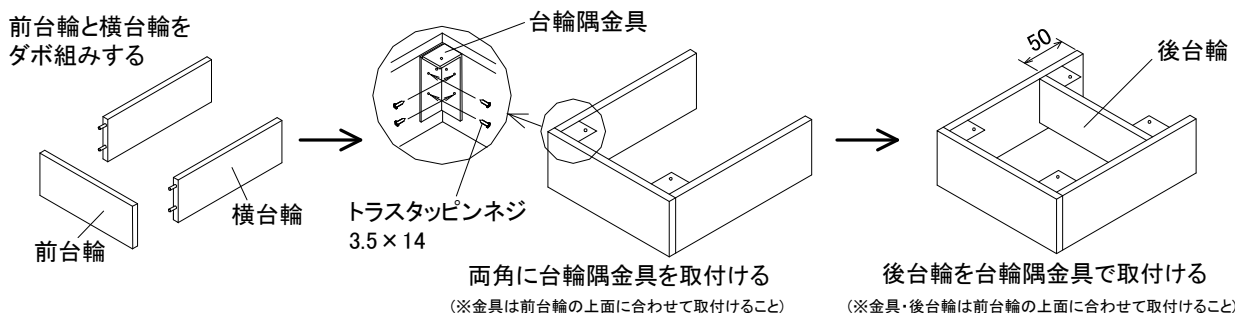
取扱設置説明書 木口カバー



2 台輪の取付 ※オンディーヌのみ

①台輪の組立

台輪の付属部品[台輪隅金具][ネジ]を使用して、台輪を組立てる。(図2)

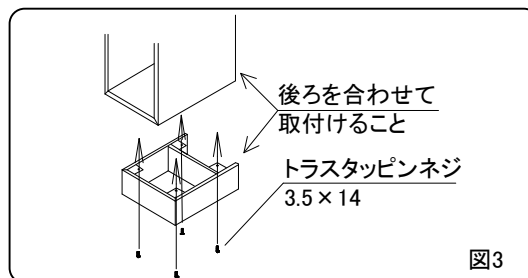


②本体キャビネットへの取付

台輪に付属のトラスタッピンネジ(3.5×14)4本で本体キャビネットに組付ける。(図3)

ご注意

台輪には位置決めのダボがないため、正確に位置決めをして取付すること。



3 キャビネットの加工

【S-YUTY023/30/45、S-YCTY023/30/45、S-YDSY023/30/45の場合】

※上台キャビネットを設置しない場合、②の作業は不要。

- ①下台キャビネット上面に下穴(φ4穴)を加工する。(図4)
- ②中台キャビネット天板に下穴(φ4穴)を加工する。(図5)
- ③中台キャビネット後板に下穴(φ5穴)を加工する。(図6)

【S-UUTU030/45、S-UTWU045、S-UTGU030の場合】

※上台キャビネットを設置しない場合、①の作業は不要。

- ①下台キャビネット天板に下穴(φ4穴)を加工する。(図7)
- ②下台キャビネット後板に下穴(φ5穴)を加工する。(図6)

【S-YUSY015、S-YCXY015、S-YDSY015の場合】

※上台キャビネットを設置しない場合、③の作業は不要。

- ①引出を取りはずす。(図8)
- ②下台キャビネット天板に下穴(φ4穴)を加工する。(図10)
- ③中台キャビネット天板に下穴(φ4穴)を加工する。(図11)

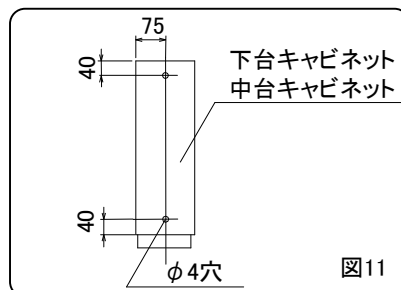
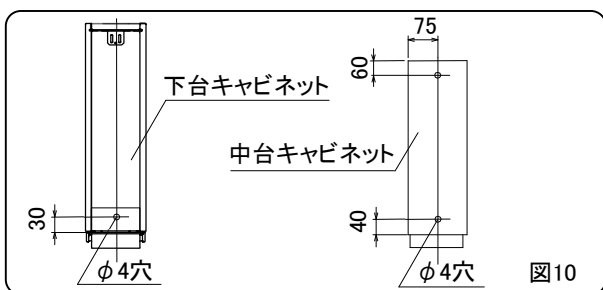
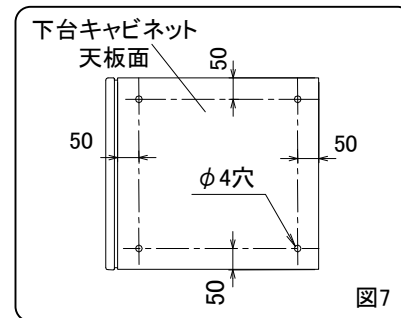
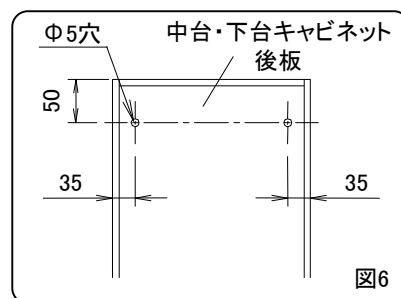
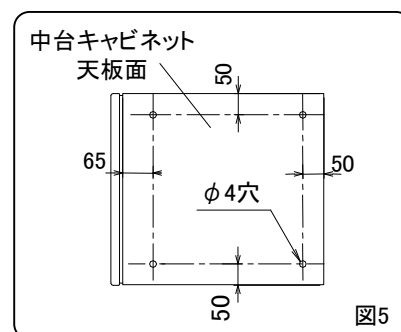
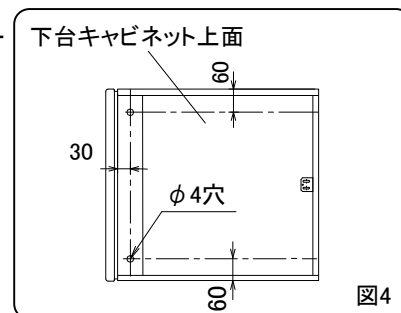
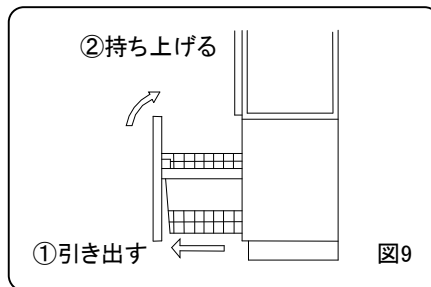
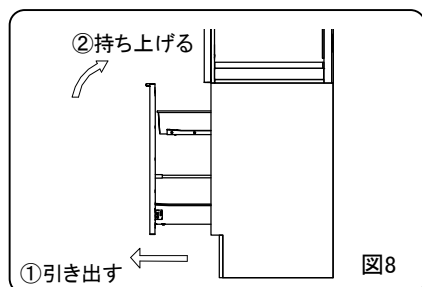
【S-UUSU015、S-UCXU015、S-UDSU015の場合】

※上台キャビネットを設置しない場合、③の作業は不要。

- ①スライドバスケットを扉ごと取りはずす。(図9)
- ②下台キャビネット天板に下穴(φ4穴)を加工する。(図11)
- ③中台キャビネット天板に下穴(φ4穴)を加工する。(図11)

ご注意

中台キャビネットは洗面化粧台の左右どちら側に据え付けるかで上下が入れかわるため、注意すること。

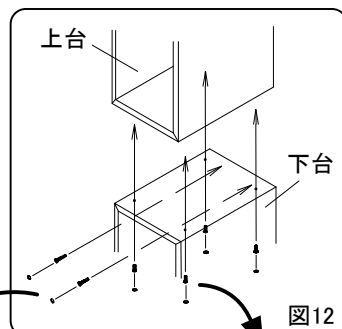


4 キャビネットの連結

【S-YUTY023/30/45、S-YCTY023/30/45、S-YDSY023/30/45の場合】

※上台キャビネットを設置しない場合、②の作業は不要。

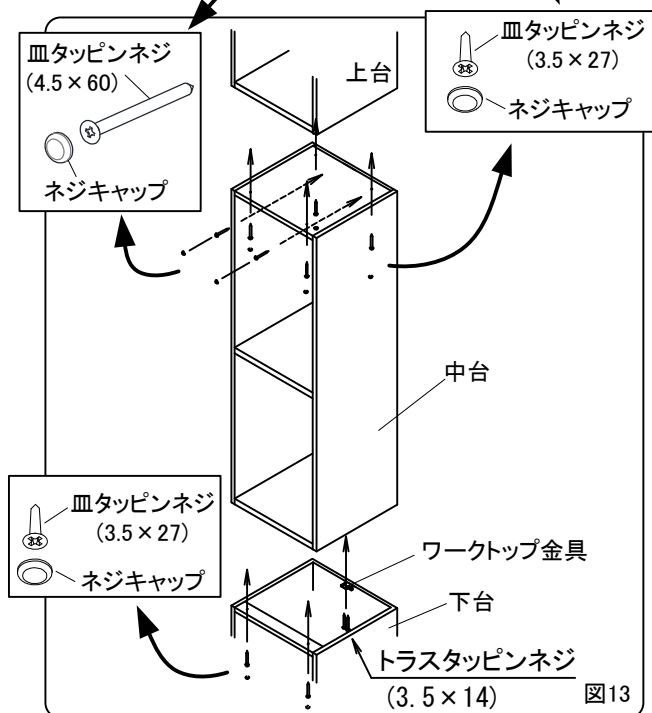
- ①中台・下台キャビネットの前面側面を合わせて、下台キャビネット天板の下穴からは皿タッピンネジ3.5×27で、ワークトップ金具からはトラスタッピンネジ3.5×14で連結し、ネジキャップをはめ込む。(図13)
- ②上台・中台キャビネットの前面側面を合わせて、中台キャビネット天板の下穴から皿タッピンネジ3.5×27で連結して、ネジキャップをはめ込む。(図13)



【S-UUTU030/45、S-UTWU045、S-UTGU030の場合】

※上台キャビネットを設置しない場合、①の作業は不要。

- ①上台・下台キャビネットの前面側面を合わせて、下台キャビネット天板の下穴から皿タッピンネジ3.5×27を連結してネジキャップをはめ込む。(図12)



【S-YUSY015、S-YCXY015、S-YDSY015の場合】

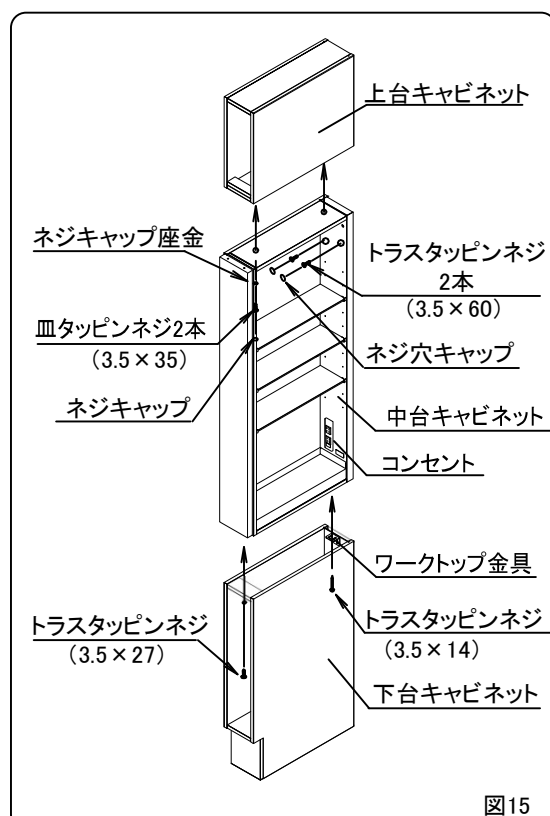
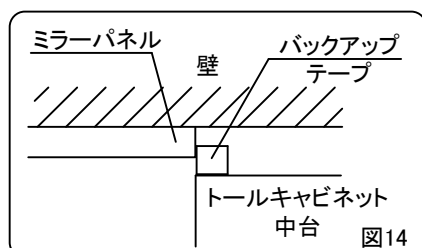
※上台キャビネットを設置しない場合、③④の作業は不要。

- ①付属のバックアップテープを中台キャビネット背面のミラーパネル側に取付ける。(図14)
- ②下台キャビネットに中台キャビネットを乗せ、両キャビネットの前面側面を合わせた後、下台キャビネット天面の下穴からはトラスタッピンネジ3.5×27で、ワークトップ金具からはトラスタッピンネジ3.5×14で連結する。(図15)
- ③中台キャビネットに上台キャビネットをのせ、両キャビネットの前面側面を合わせてネジキャップ座金を通したネジ(皿タッピンネジ3.5×35)で連結する。(図15)
- ④ネジキャップ座金にネジキャップをはめ込む。(図15)

【S-UUSU015、S-UCXU015、S-UDSU015の場合】

※上台キャビネットを設置しない場合、③④の作業は不要。

- ①付属のバックアップテープを中台キャビネット背面のミラーパネル側に取付ける。(図14)
- ②下台キャビネットに中台キャビネットを乗せ、両キャビネットの前面側面を合わせてネジ(トラスタッピンネジ3.5×27)で連結する。(14ページ 図16)
- ③中台キャビネットに上台キャビネットをのせ、両キャビネットの前面側面を合わせてネジキャップ座金を通したネジ(皿タッピンネジ3.5×35)で連結する。(14ページ 図16)
- ④ネジキャップ座金にネジキャップをはめ込む。(14ページ 図16)



スライドバスケットの調整のしかた

- Aのネジ4本(左右)を緩め、扉を上下・左右方向に動かし調整する。
スライドバスケットをはずして作業する。
- 調整後、ネジを締め直して、スライドバスケットをもとにもどす。(図17)

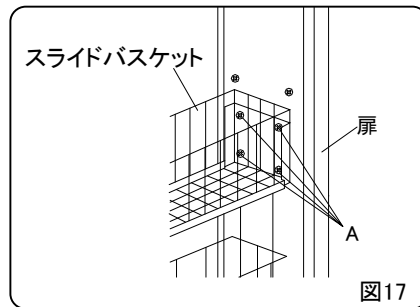


図17

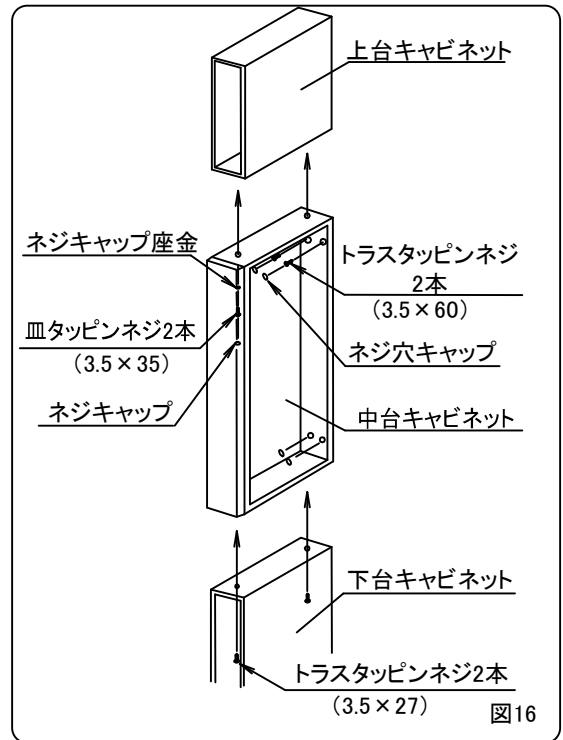


図16

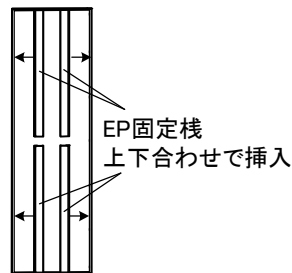
5 エンドパネルの設置 ※エンドパネルを設置する場合のみ

- ①EP固定枠をパネル本体前後に
下合わせで挿入する。(図18)

ご注意

勘合が甘くてがたつく場合は
シリコンまたはテープで固定すること。

【SEP-TD(Y*)の場合】



【その他の場合】

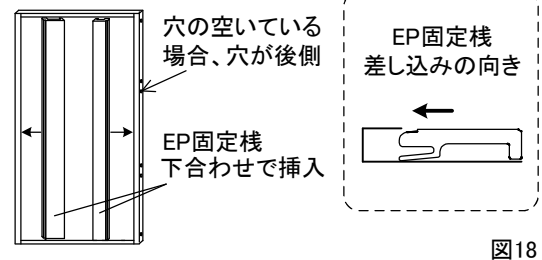


図18

- ②キャビネットに下穴(φ4.5穴)を加工する。(図19)

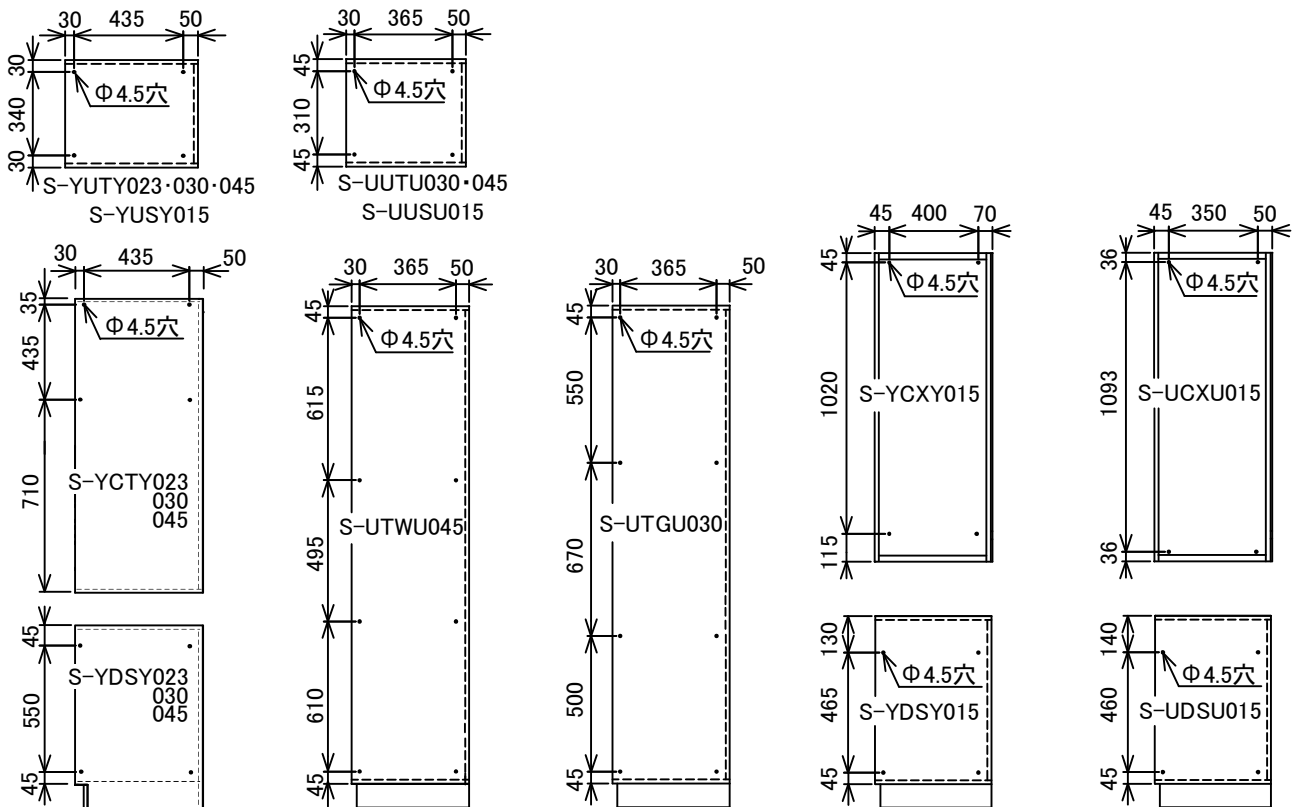


図19

③EP中棧を取付ける。(図20)

④キャビネット後部に位置を合わせて、キャビネットの内側からネジ(皿タッピンネジ3.5×27)を打ち、ネジキャップをはめ込む。(図21)

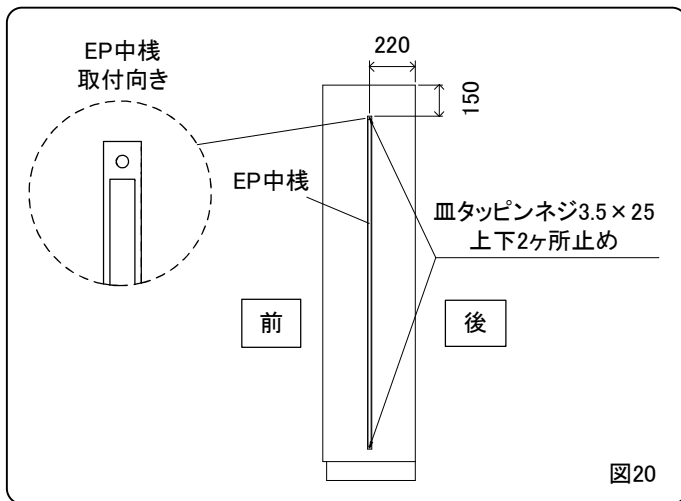


図20

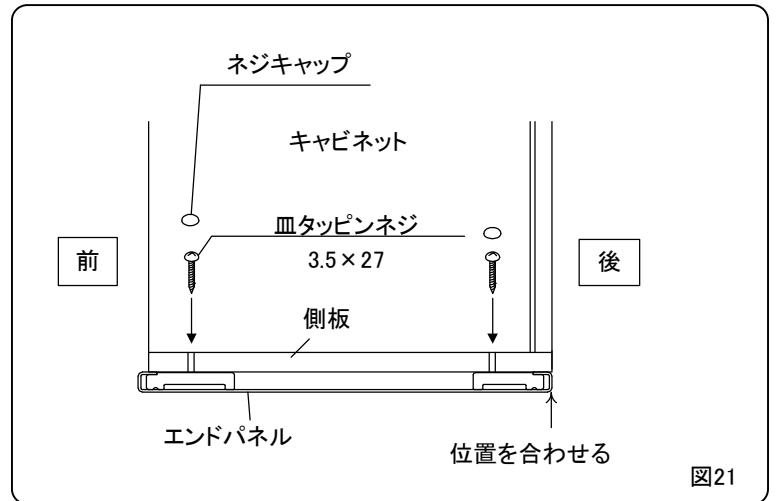


図21

ツールユニット用エンドパネルに隣接してキャビネットを設置する場合

隣接するキャビネットとの間にスキが発生する場合は、次の方法でパネルの反りを矯正してください。(図22)

①隣接するキャビネットで隠れる箇所にφ6～6.5の穴を加工する。(図23)

②加工した穴にシリコンで防錆処理する。

③加工した穴からネジ(皿タッピンネジ3.5×25)を打ち、パネルの反りを矯正する。(16ページ 図24)

※ネジ頭が出っ張らないように調整すること。

④台輪部の隙間高さに合わせて前固定アングルをカットし、貼付ける。(16ページ 図25)

※SEP-TDN(U*)の場合はエンドパネルが床面までであるため不要。

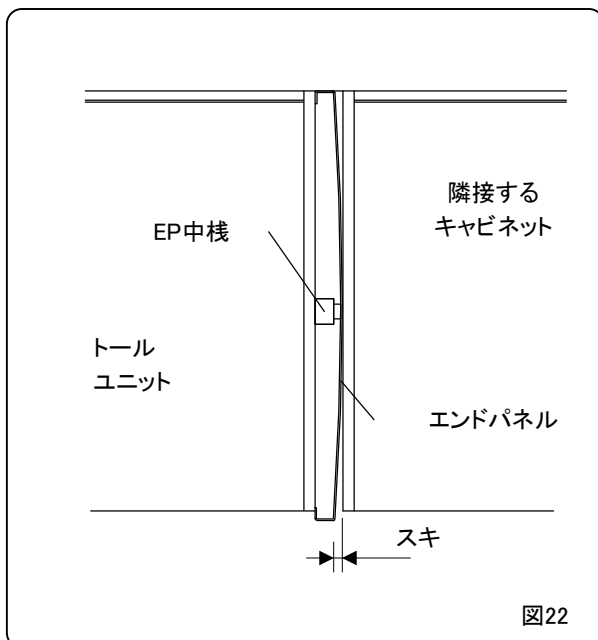


図22

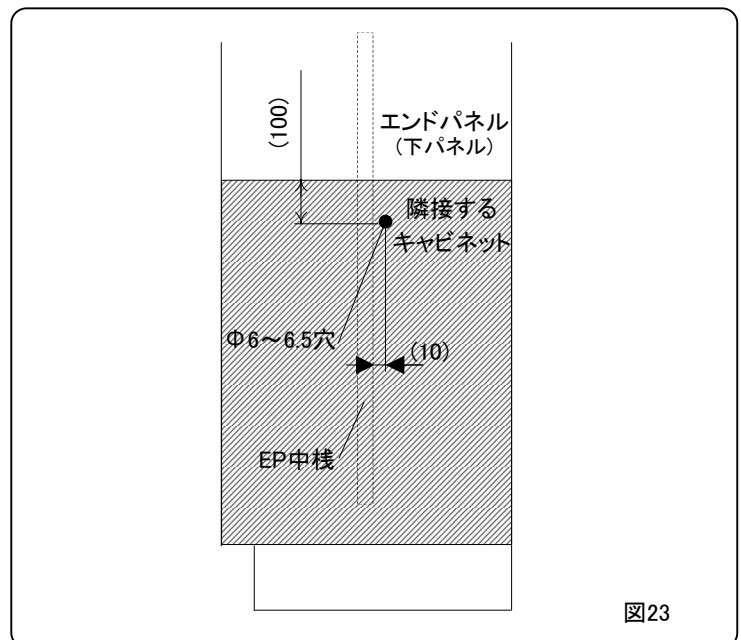


図23

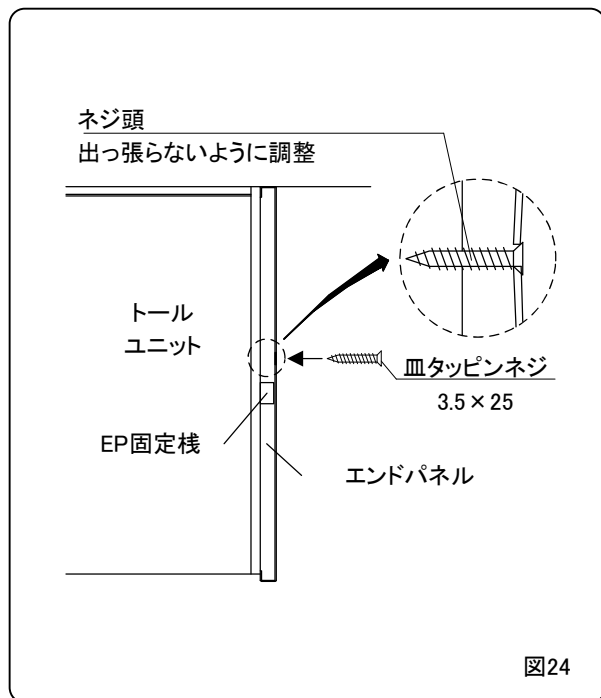


図24

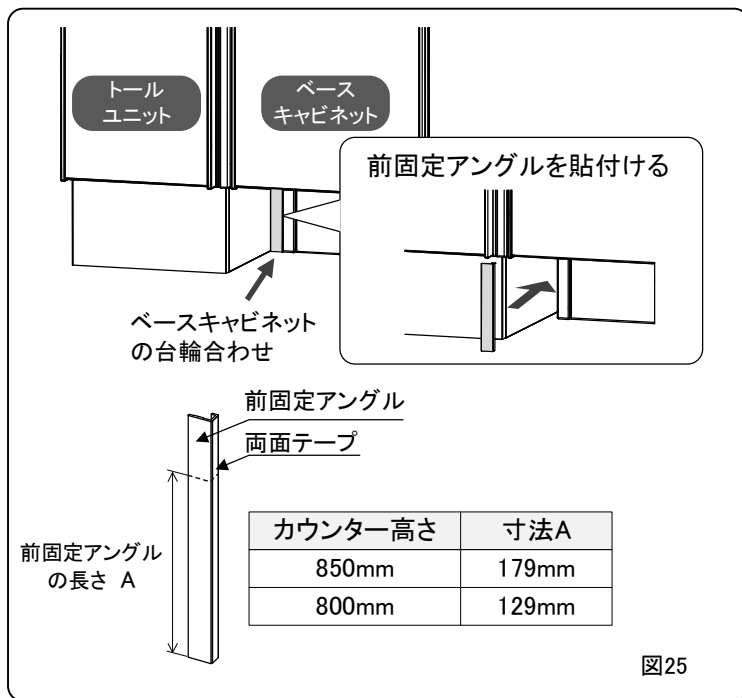


図25

6 フィラーの設置

※フィラーを設置する場合のみ

- ①見切り部材ホワイト(L=1176)のうち1本を下記の寸法にカットする。
 <吊戸有りの場合>ファミリー:1043mm、オンディーヌ:1033mm
 <吊戸無しの場合>ファミリー:643mm、オンディーヌ:633mm
- ②右表の台輪高さに合わせて、見切り部材ホワイト(L=189)をカットする。
- ③取付穴を加工する。(図26)

台輪高さ	見切り部材の長さ
180mm	179mm
140mm	139mm
130mm	129mm

ご注意

穴加工前に左右どちらにつけるかを確認すること。

- ④見切り部材をネジ(トラスタッピンネジ3.5 x 14)で固定する。(図27)
- ⑤スポンジテープを図に示す位置に貼り付ける。(17ページ 図28)

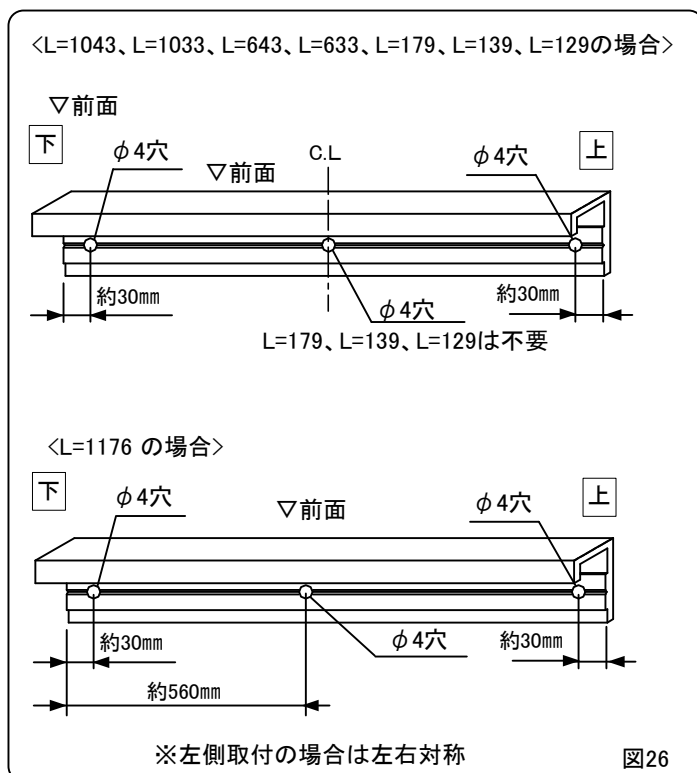


図26

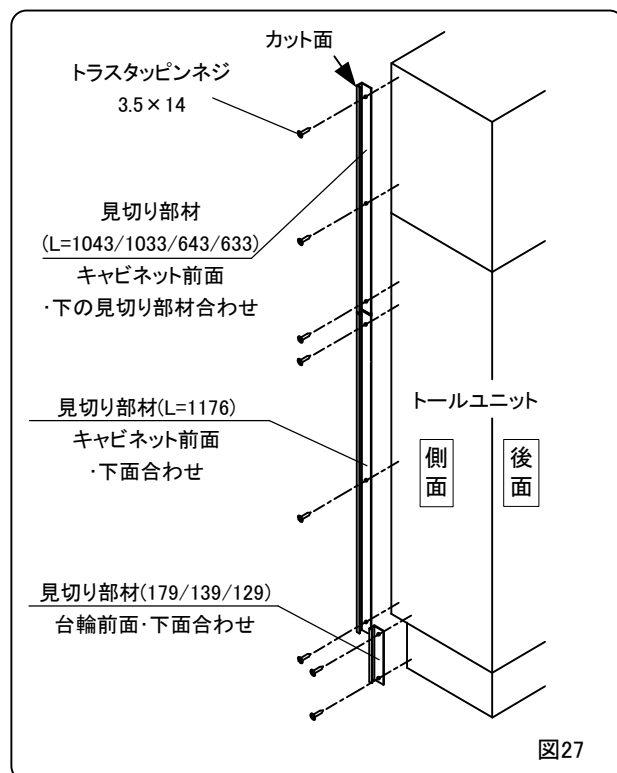


図27

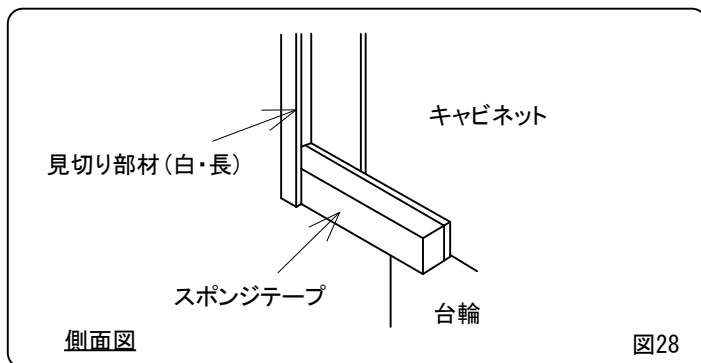


図28

7 キャビネットの設置

ご注意

床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてがたつきのないように設置すること。

【S-YUTY023/30/45、S-YCTY023/30/45、S-YDSY023/30/45の場合】

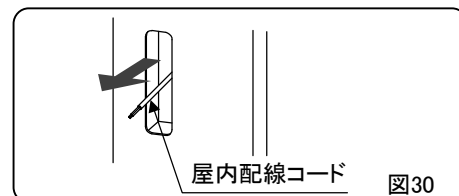
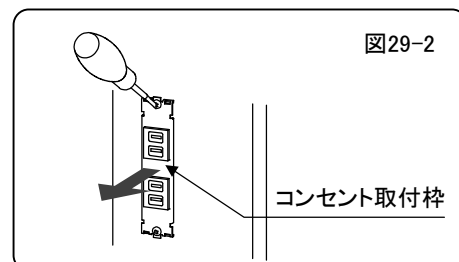
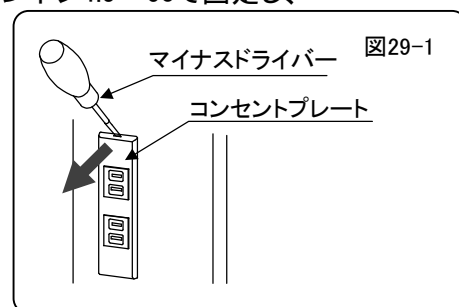
- ①中台キャビネット内部より、中台キャビネット後板の下穴から壁面に皿タッピンネジ4.5×60で固定し、ネジキャップをはめ込む。(13ページ 図13)
- ②棚板を設置する。(6ページ)

【S-UUTU030/45、S-UTWU045、S-UTGU030の場合】

- ①下台キャビネット内部より、下台キャビネット後板の下穴から壁面に皿タッピンネジ4.5×60で固定し、ネジキャップをはめ込む。(13ページ 図12)
- ②棚板を設置する。(6ページ)

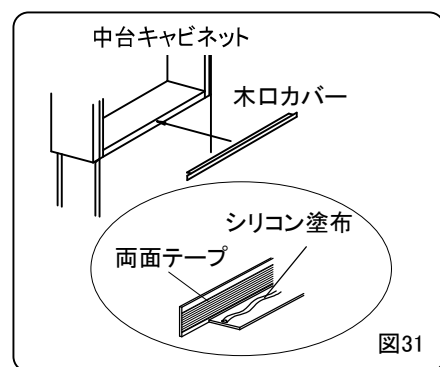
【S-YUSY015、S-YCXY015、S-YDSY015の場合】

- ①コンセントプレートをマイナスドライバーではずす。(図29-1)
- ②コンセント取付枠のネジをはずし、取付枠を手前に引き出す。(図29-2)
- ③屋内配線コードをコンセント取付部の開口から引き出す。(図30)
- ④中台キャビネット後板上方の壁面取付け用下穴よりネジ(トラスタッピンネジ3.5×60)2本で固定する。(13ページ 図15)
- ⑤中台キャビネットの後板の壁面取付け用下穴にネジ穴キャップをはめ込む。(13ページ 図15)
- ⑥棚板を設置する。(6ページ)
- ⑦下台キャビネットの扉を元通りにセットする。



【S-UUSU015、S-UCXU015、S-UDSU015の場合】

- ①設置場所にキャビネットを仮置きし、中台キャビネット後板上方の下穴よりネジ(トラスタッピンネジ3.5×60)2本で固定する。(14ページ 図16)
- ②中台キャビネット後板の下穴にネジ穴キャップをはめ込む。(14ページ 図16)
- ③木口カバー裏面にシリコンを塗布し、両面テープで中台キャビネットの木口に貼付ける。
はみ出したシリコンはきれいにふき取る。(図31)
- ④棚板を設置する。(6ページ)
- ⑤下台キャビネットの扉を元通りにセットする。



8 直結配線工事

- ①屋内配線コードの先端の被覆をコンセント裏面のストリップ
ゲージ(16mm)に合わせてむく。(図32)
(適合電線VVFケーブルφ1.6または2.0単線)

ご注意

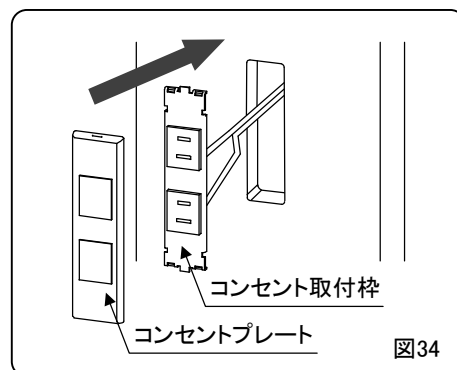
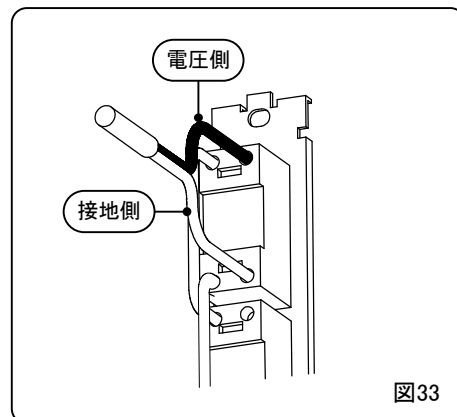
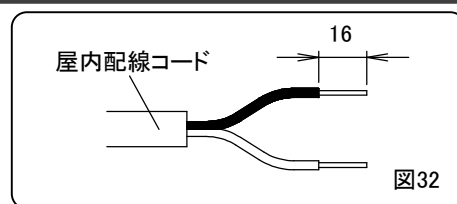
- ・配線加工は、必ず「有資格者」が行う。
- ・被覆は適正量剥くこと。(接触不良やショートのおそれ)

- ②屋内配線コードをコンセント取付枠裏面の接続穴に直角に
奥まで確実に差し込む。(図33)

ご注意

- ・屋内配線コードの被覆は、極性に注意して導体が露出しないように、
コンセントの奥までしっかり差し込む。
- ・屋内配線を差し込んだ後、一度引っ張り、接続確認を行う。
- ・本製品はアース線の接続は不要。

- ③コンセント取付枠とコンセントプレートを用意通りに収める。(図34)



コーキング処理

【S-YCXY015、S-UCXU015の場合】

キャビネットとカウンターとのスキ間、ミラーパネルとキャビネットのスキ間を、シリコンでコーキングしてください。(図35)

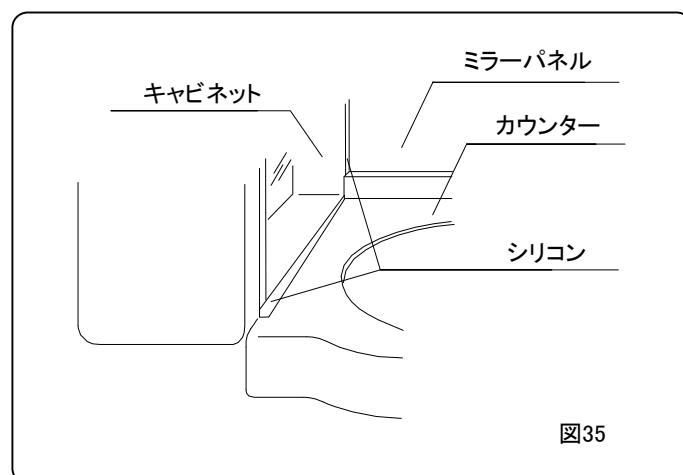


図35

安全点検

- 本体にガタつきがないか確認してください。
- 設置時に製品が汚れた場合は、水を含ませかたくしぼった布でふいてください。
その後、乾いた布でふき取ってください。
落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。
その後、水を含ませかたくしぼった布で洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意: 溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。
製品をいためるおそれがあります。



- 扉・スライド扉に傾きなどが生じた場合は、6ページおよび7ページを参照して調整してください。

お願い事項

- 製品の養生
すべての作業が完了しましたら、製品を保護養生してください。
- 取扱説明書の保管・引渡し
洗面収納ユニットの取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
- 梱包材その他の工事部材の処理
梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

アフターサービス

タカラスタンダード製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記WEBサイトまたはフリーダイヤルよりご連絡ください。

WEB

【タカラスタンダードお客さまサポートサイト】

<https://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>



お電話

 0120-557-910

※携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品品番(キャビネット内側面に表示)
- (2) 異常の状況(できるだけ詳しく)
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前・ご住所・お電話番号

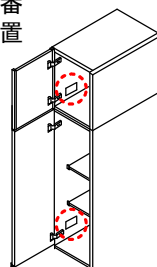
【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

製品品番
表示位置



タカラスタンダードお客さまサポートサイト <https://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

インターネットでの修理のご依頼、消耗品・小物のご注文も可能です。

＜修理のご依頼＞

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。

修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

＜よくあるご質問＞

お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。

修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

＜消耗品・小物のご注文＞

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。

※一部、取扱いのない商品もございます。フリーダイヤル(0120-557-910)まで お問い合わせ願います。

〈お客さまサポートサイト〉



※お客様の個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。
詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

廃棄部材を不法投棄された場合、廃棄の依頼者も法律違反で罰せられます。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

センメントールリアツカイセツセツメイヨ(9)
25H-5



* 1 5 9 7 4 4 0 6 *